

## オイルプラントナトリ (名取市)



オイルプラントナトリでは、平成 18 年から、家庭や飲食店、食品工場などで生じたてんぷら油（廃食用油）を同社のプラントにて精製し、BDF を製造しています。

市内の家庭から排出される廃食用油は、公民館やスーパーといった回収場所に持ち込まれた後、市が回収を委託している市内福祉事業所により BDF プラントへ運び込まれ、製品となっており、地域住民の協力を得ながら、地域のカーボンニュートラルの実現に寄与しています。令和 3 年度における廃食用油の回収実績は約 309,000L となっています。

製造した BDF は、軽油代替燃料としてトラックや重機、フォークリフトなどに利用し、関心を寄せる企業においても利用されています。



BDF で動かしている重機



廃食用油回収の様子



BDF 製造装置

Keyman's VOICE

株式会社 オイルプラントナトリ  
代表取締役 武田 洋一 さん

本業で培った廃油処理の技術を活用しながら、カーボンニュートラルに寄与する目的として取り組みを始めました。

寒冷地で BDF を用いた車両走行試験を行ったり、需要者のニーズに対応した製造方法を検討するなど、製品の改良を繰り返しています。

今後も、バイオ燃料を活用した工場内での発電や、地域での新たな利用展開に向け、取り組みを広げていきます！



所在地	名取市下増田字広浦 35-48
アクセス	仙台東部道路 名取 IC から車で約 6 分
エネ種	バイオディーゼル燃料精製
活用した補助事業	平成 25 ~ 27 年度 宮城県 3R 新技術研究開発支援事業費補助金 (宮城県)
運営主体	株式会社 オイルプラントナトリ
連絡先	TEL: 022-382-2713

## 株式会社 宮城衛生環境公社 (仙台市)



宮城衛生環境公社は、平成 30 年以降、自社の脱炭素化を会社の方針として取り組んできました。本社には太陽光発電設備を設置し全量を自家消費し、東北や新潟県で発電された水力由来の環境にやさしい電気なども活用し再エネ 100%化しています。また、本社には V2H (外部給電器) と PHV を導入し、太陽光で発電した電気を営業車でも使用する他、停電時でも活用できる体制を構築しています。



設置している太陽光パネル



太陽光で発電した電気を V2H を通じて PHV に充電しています

太陽光で発電した電気は、災害等による停電時にも活用することができますが、その活用方法の一つとして、ポータブル蓄電池で緊急時に貸し出すことが出来る体制にしています。

今後は、仙台市青葉区に使用済み太陽光パネルのリサイクル事業を行う工場を新設します。

使用済み太陽光パネルをサーキュラーエコノミーの観点から、廃棄ではなく再利用化などへ繋げ、環境負荷を低減します。工場は令和 5 年 4 月に稼働開始する予定で、今後懸念されている太陽光パネルの大量廃棄問題にも解決策を提示していくなど、様々な視点で「明るい衛生環境づくり」を理念とし、地域社会の環境を守るために取り組んでいます。

Keyman's VOICE

株式会社 宮城衛生環境公社  
代表取締役 砂金 英輝 さん

ごみ収集はライフライン！どんな状況でも事業を続けられるよう、太陽光で発電した再エネ電力を PHV から供給できる設備を導入しています！

今後は、ごみ収集を行うパッカー車の脱炭素化に向け、EV 化や水素、脱炭素燃料の使用などを模索していきます。



所在地	仙台市青葉区熊ヶ根字野川 26-6
アクセス	JR 仙山線熊ヶ根駅より車で約 6 分
エネ種	太陽光発電 20kW、蓄電池、PHV、V2H
活用した補助事業	令和 2 年度みやぎ二酸化炭素排出削減事業費補助金、令和 3 年度太陽光発電を活用した EV 利用モデル導入支援事業費補助金 (宮城県)
運営主体	株式会社 宮城衛生環境公社
連絡先	TEL: 022-393-2216
見学の可否	可